

## 平成新山南側斜面の発光現象について 第 2 報

### 概況

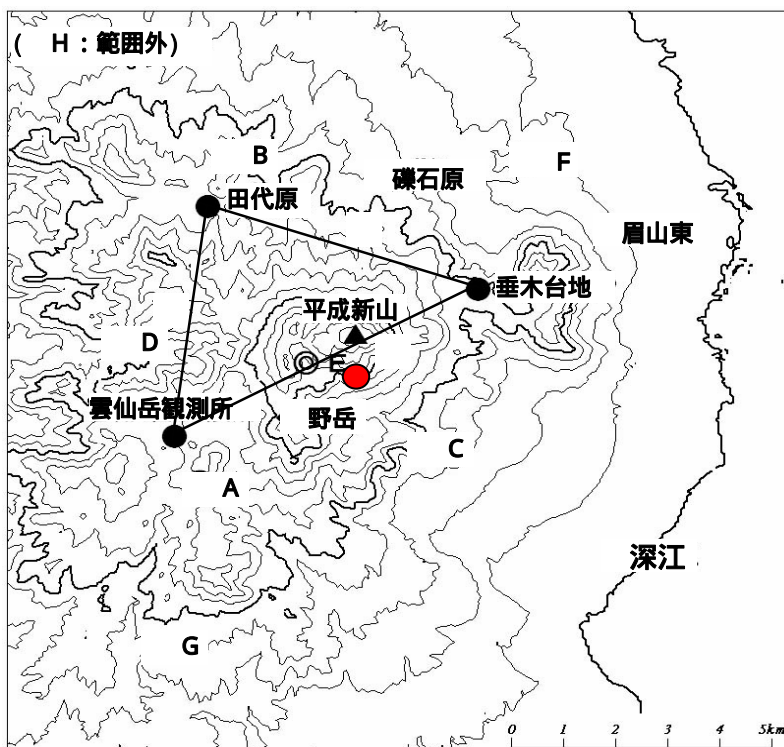
2006 年 11 月 6 日に平成新山の南側中腹斜面の一部で確認された発光現象(写真 1)についてその後の状況をお知らせします。

九州地方整備局の協力による上空からの観測では、今回の発光現象のあった場所(写真 2、3)の特定は出来ましたが、火山ガスの噴出によるものかどうか原因の特定は出来ませんでした。このため、監視カメラによる監視を注意深く行っていきます。

なお、火山性地震や微動の発生はなく、雲仙岳の火山活動は静穏な状態が続いています。



写真 1 野岳監視カメラの映像 2006 年 11 月 6 日 20 時 21 分の映像



地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平 17 総使、第 503 号)

● 今回の発光現象の位置

気象庁観測点  
監視カメラ 2 点( )  
地震計 9 点( 、 観測所)  
空振計 2 点(C、F)  
傾斜計 2 点(B、E)  
GPS 3 点( )  
九州大学観測点

図 1 気象庁観測点と発光現象の位置図



写真2 上空(南方向から)平成新山南斜面を撮影 2006年11月7日  
協力 九州地方整備局

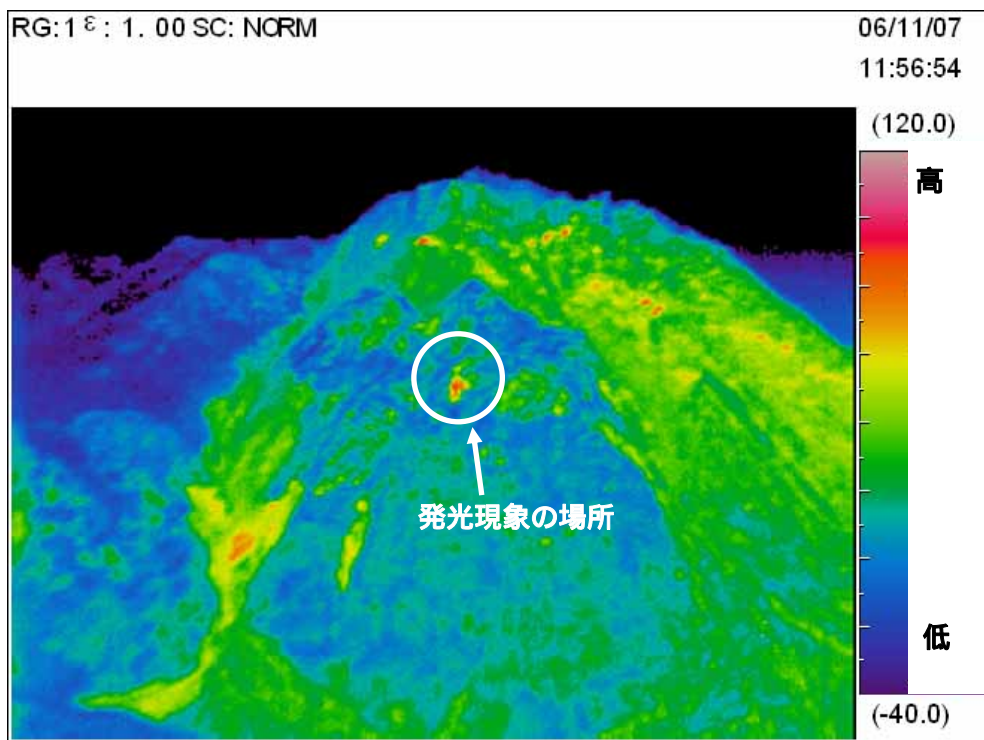


写真3 上空からの熱映像画像 2006年11月7日  
協力 九州地方整備局